

吉田 幸一郎 7つのチェンジ

変えよう！県政 市民の力 基本政策

- チェンジ1 大企業・開発優先、利権政治やめ、暮らし優先に
- チェンジ2 「何より、いのちと人権」 本気の災害対策を
- チェンジ3 戦後・被爆80周年、福岡県を平和の拠点に
- チェンジ4 だれもが自分らしく生きられる福岡県に
- チェンジ5 原発ゼロ・気候危機打開 子どもの未来をまもる
- チェンジ6 農林水産業の支援で、食の安全と地域の元気を
- チェンジ7 中小企業優先の産業政策で地域経済を元気に

チェンジ1 大企業・開発優先、利権政治やめ、暮らし優先に

- 吉田幸一郎は、国に対して、全国一律時給1500円をただちに実現するための中小企業支援、消費税減税とインボイス廃止、OECD最低水準の社会保障や教育への公的支出の抜本的拡充、中小企業や農業を持続可能にする支援、命と暮らしをまもりぬく防災と復旧の支援などを、真正面から求めます。そのために、アメリカいいなりの大軍拡や大企業への兆円単位のばらまき、大企業・富裕層優遇の減税をやめて財源をつくることを求めます。

吉田幸一郎は、税金のつかい方を徹底検証し、暮らし応援の財源をつくります

- ① 大企業への1社50億円もの立地補助金のばらまきを見直す
- ② 「ワンヘルス」の名による「村度」浪費を、ゼロベースで見直す
- ③ 「終わらない公共事業」 筑後広域公園計画を検証し、ただす
- ④ 「3ない道路」 下関北九州道路計画からきっぱり手をひく
- ⑤ 県政を食い物にするあらゆる利権を一掃する
- ⑥ 県民の命と暮らしをまもる基金の積極的活用

吉田幸一郎は、県独自の3つの賃上げ支援をただちに実行します

- ① 吉田幸一郎は、国に対して、全国一律・時給1500円の最低賃金を一刻も早く可能にする規模の中小企業への支援をつよく求めるとともに、県として、中小企業が1人年額10万円余の賃上げをできる支援を行います。そのうえで、他の先進国並みの時給2000円をめざします。

- ② 吉田幸一郎は、国に対して、ケア労働者の賃金の公定価格や報酬を見直して引き上げるようつよく求めるとともに、県独自の奨学金返済支援や家賃補助を行い支援します。
- ③ 吉田幸一郎は、官製ワーキングプアをなくし、県庁から賃上げの波をおこすために、公契約条例をつくり、県の公契約で働く人に時給1500円を保障します。あわせて、非正規職員の均等待遇と正規化をすすめます。

吉田幸一郎は、子どもたちに希望をプレゼントします

- ① 吉田幸一郎は、全県の小中学校給食を無償化するために、市町村の無償化を半額補助するとともに、学校給食への地元農産物、有機農産物の使用などを支援し、「質の向上」をすすめます。
- ② 吉田幸一郎は、18歳年度末までの医療費完全無料化のために市町村を支援します。
- ③ 吉田幸一郎は、国民健康保険への国の負担を増やして、時代錯誤の「人头税」同様の「均等割」「平等割（世帯割）」を廃止し、国保料（税）を協会けんぽ並みに引き下げを求めます。同時に、就学前までの「子どもの均等割」を県の負担でただちにゼロにし、小学校～18歳年度末までの「均等割」の半額を支援します。
- ④ 福岡県は、少人数学級を推進する県独自の予算がない4県の一つです。吉田幸一郎は、県として、正規の教員を増やし、小中学校のすべての学年で、そして高校でも、35人学級を早急を実現するために、独自の予算措置をおこないます。
- ⑤ 吉田幸一郎は、国に対して大学や専門学校の学費無償化、入学金廃止とともに、給付制奨学金の拡大と奨学金返済支援を求めるとともに、県独自にも給付制奨学金制度と奨学金返済支援制度をつくりまます。

吉田幸一郎は、高齢者に安心と元気をとどけます

- 吉田幸一郎は、鉄道・バス・タクシーにもつかえる高齢者交通費支援制度（福祉乗車証・シルバーパスなど）を市町村とともに実施します。また、市町村の「交通難民」を解消するとりくみへの支援をつよめます。
- 吉田幸一郎は、医療の観点から加齢性難聴の高齢者の補聴器購入費補助を行います。

チェンジ2 「何より、いのちと人権」 本気の災害対策を

吉田幸一郎は、「流域治水」を本格的にすすめます

- 吉田幸一郎は、県独自の「流域治水」の予算と体制の拡充し、河川整備計画の策定を急ぎ、河川の管理と整備などの予算を抜本的に増額します。とりわけ、次の対策を急ぎます。▽排水ポンプの能力アップなど排水機場の機能強化、緊急排水ポンプ車の配置、▽河道内に堆積した土砂の除去や繁茂した草木を伐採し、河川の疎通能力を回復させる、▽堤防がなく溢水した箇所対策、▽ダム的事前放流の基準の見直し、▽河川整備の計画と進捗状況について、流域のすべての住民を対象に直接説明する機会を設け、住民の質問に丁寧にこたえ、要望にしっかりと耳を傾ける。

吉田幸一郎は、県独自の土砂災害対策をつよめます

- 吉田幸一郎は、県独自に、「人口崖」も対象にした災害復旧と防災対策への支援制度をつくり、国の支援策の対象にならない箇所を支援します。また、人命にかかわる問題として、予算の配分を抜本的に増やし、整備（砂防対策、地滑り対策、急傾斜地崩壊対策）を急ぎます。

吉田幸一郎は、地震から命をまもりま

- 吉田幸一郎は、「地域防災計画」の想定を、最新の知見にもとづいて毎年見直す。それによる、避難者数の想定の見直しともあわせ、一次避難所の備えを抜本的に改善するために、市町村を支援します。
- 吉田幸一郎は、耐震改修への県の補助を増やし、促進します。県の耐震診断アドバイザーの派遣（一般診断で6000円、簡易診断で3000円の利用者負担）を無料化します。
- 吉田幸一郎は、県として、「耐震シェルター」「防災ベッド」などの購入費補助、「防災ベッド」の格安レンタル制度をつくりま

吉田幸一郎は、被災者に人権を保障し、助かった命を守りま

- 吉田幸一郎は、せっかく助かった命を守るために、「被災者にも人権を保障する」という国際的水準の避難所を、安心して休める「緊急の住まい」として県と市町村で確保します。また、仮設住宅の建設の用地、資材、事業者の確保、近隣自治体を含めた公営住宅の活用、ホテルや民間住宅の借り上げなどの備えをすすめます。
- 吉田幸一郎は、少なくとも、障害者、傷病者、支援や介護が必要な高齢者、認知症の高齢者、妊婦、乳幼児や子どもがいる家族などの避難所として、ホテルを借り上げる備えを急いで整えます。また、政府は日本語が分からない外国人や地理にうとい旅行者の方も「災害弱者」としており、県の責任で対策を行います。

吉田幸一郎は、生活と生業（なりわい）を再建できるまで支援しま

- 吉田幸一郎は、住宅再建の支援対象に半壊、一部損壊のすべてを対象にし、支援金は再建に必要な現実的な金額となるよう被災者生活再建支援金を大幅に引き上げることを国に求めるとともに、それまでは県が必要な上乗せ支援をします。
- 吉田幸一郎は、県として、国のなりわい再建支援金のうち事業者の自己負担分を肩代わりする制度をつくりま
- 吉田幸一郎は、国の支援がない40万円以下の農業・農業用施設の被害の復旧などを県独自に支援し、農家負担をなくします。また、漁に出られない間の漁業者への休業補償を行います。

吉田幸一郎は、災害からいのちまもるプロを確保しま

- 吉田幸一郎は、自治体の消防力も、大規模災害の発生を想定した人員体制にしていくための予算措置を国に求めるとともに、県独自にも支援をします。

吉田幸一郎は、コロナ禍で試された「いのちのインフラ」を再建しま

- 吉田幸一郎は、コロナ禍の反省も踏まえ、公立・公的病院を地域医療の要として再構築し、保健所数も、正規の保健師や職員の数も、最高時まで増やしていきます。

チェンジ3

戦後・被爆80周年、福岡県を平和の拠点に

吉田幸一郎は、大軍拡に反対し、憲法9条を生かす外交による平和を求めます

- 吉田幸一郎は、東アジアの緊張を高め、県民に戦争と隣り合わせの生活と大きな負担を強いる大軍拡、集団的自衛権行使の戦争のための県内の基地の強化や日米共同訓練を含む使用、そして民間インフラの軍事利用には、きっぱり反対します。とりわけ、米軍板付基地（＝福岡空港）の返還協議会の顧問である知事として、福岡空港の軍事利用を許さず、米軍施設の全面返還を求めます。
- 吉田幸一郎は、憲法9条を生かした外交努力で平和を築くことを求めます。国連憲章と国際法にもとづき、ガザでのジェノサイドの即時中止、ウクライナ戦争の「公正な和平」による終結を求めます。

吉田幸一郎は、県独自の平和推進活動をすすめます

- 吉田幸一郎は、あらためて「福岡県非核平和宣言」を発し、日本政府に対して、「核兵器禁止条約」の署名・批准をもとめます。
- 吉田幸一郎は、東アジアの国々や人々との対話と人的、文化的、経済的交流をつよめ、緊張緩和と信頼醸成をはかります。
- 吉田幸一郎は、広島、長崎の平和祈念式典に毎年県の代表を派遣して、毎年8月15日には「福岡県平和メッセージ」を国内外に発します。
- 吉田幸一郎は、「県立平和ミュージアム」の開館をめざし、当面、デジタルミュージアムを開館し、すべての市町村にある戦争資料の保存と整理、公開を行います。

チェンジ4

だれもが自分らしく生きられる福岡県に

吉田幸一郎は、「子どもの権利」を社会のすみずみにいきわたらせます

- 吉田幸一郎は、県の施策、学校の運営などにおいて、子どもの意見表明権を保障する仕組みをつくるとともに、子ども自身が相談できる「子どもの権利」救済センターを設立します。また、子どもの権利条約の子どもとおとなへの普及を本格的にすすめます。
- 吉田幸一郎は、校則は、子どもの人権にかかわるとともに、教育活動の一環という位置づけで、各学校で教職員・子ども・保護者が、憲法と子どもの権利条約を共通の土台として、話し合うことを大切にします。
- 吉田幸一郎は、「このままでは学校がもたない」と悲鳴があがっていることを受け止め、教員の安定確保のためにも非正規教職員の正規化と待遇改善を待たないですすめます。また、県内の全小中学校、特別支援学校の教員不足の解消と少人数学級の推進のために、正規教員を増やします。

吉田幸一郎は、ジェンダーギャップゼロの福岡県をめざします

- 男女間の賃金格差是正
 - 吉田幸一郎は、県職員の男女間の賃金格差を是正し、官民あげた是正を推進します。とくに、

間接差別をなくし、非正規から正社員への流れ、非正規雇用の労働条件改善と均等待遇をすすめます。

■ L G B T / S O G I 平等へ

- 吉田幸一郎は、市町村とともにパートナーシップ制度の活用を広げ、国に同性婚法制化を促します。
- 吉田幸一郎は、早急にL G B T平等条例を制定し、国に対して、選択的夫婦別姓制度とL G B T平等法の制定を迫ります。
- 吉田幸一郎は、県の公的書類における不必要な性別欄を撤廃します。
- 吉田幸一郎は、学校（教育機関）や地域でのL G B T / S O G Iの理解促進に力を注ぎます。
- 吉田幸一郎は、企業が、相談窓口の設置や福利厚生、「誰でもトイレ」の設置、社内研修など適切なL G B T / S O G I対策を実施することを呼びかけ、積極的にとりくむ企業の顕彰を行います。
- 吉田幸一郎は、病院や自治体窓口などで個人を呼ぶ際、姓名でなく番号で伝えるよう要請します。

■ 性犯罪の被害根絶へ

- 吉田幸一郎は、県として、痴漢被害の実態を調査し、相談窓口を充実し、とくに、被害の多い高校生などが相談できる体制をつくります。また、加害根絶のための啓発や加害者更生を推進します。
- 吉田幸一郎は、痴漢・盗撮を含む性犯罪の根絶のための学校教育を充実します
- 吉田幸一郎は、担当部局を設け、県警や交通事業者などとも協議、連携しながら根絶に取り組みます。とくに、駅無人化を広げるJ Rなどの鉄道事業者に対策を求めます。
- 吉田幸一郎は、若年女性やさまざまな困難を抱える女性がアクセスしやすい相談窓口を拡充し、24時間365日の対応可能な体制の充実・強化、職員の処遇改善と専門性向上、シェルターの拡充など、性暴力、D V・虐待被害者支援を緊急に強めます。

■ リプロダクティブ・ヘルス&ライツの視点での施策

- 吉田幸一郎は、科学的な包括的性教育を推進します。
- 吉田幸一郎は、生理用品の恒久的な無償配布、学校など公的施設のトイレへの設置を推進します。
- 吉田幸一郎は、職場や学校などでも生理に関する知識や理解を深め、女性が過ごしやすい環境を整えるために啓発をします。
- 吉田幸一郎は、安全な妊娠・出産のための周産期医療体制を充実させます。
- 吉田幸一郎は、妊婦検診や出産費用の軽減、ベビー服や哺乳瓶などの育児用品を贈る制度の導入など、妊娠・出産にかかる経済的負担を軽減し、出産一時金の金額を大幅に引き上げます。
- 吉田幸一郎は、退院直後の母親の心身のケアや育児サポート事業をすすめます。
- 吉田幸一郎は、女性の不妊専門相談センターの整備・拡充、女性の自己決定権を保障する立場から、カウンセリング体制を強化し、悩みや思いに寄り添ったアドバイス、支援ができるようにします。

- 吉田幸一郎は、女性が、生理やホルモンバランスによる体調不良、避妊、更年期障害など、様々な悩みや不調を気軽に相談でき、女性の権利やプライバシーを守りつつ、親身に対応でき、必要な医療につなげられる窓口を整備します。
- 吉田幸一郎は、生理休暇を気兼ねなく取得できるように、制度の周知徹底をすすめます。
- 政策・意思決定の構成を男女半々に
 - 吉田幸一郎は、県の行政機関、管理職、審議会などの構成を男女同数となるようにします。そのためにも、計画的に、女性の採用、管理職への登用を行います。
- 男女の固定的な役割分担意識の解消を
 - 吉田幸一郎は、男女平等・ジェンダー教育、研修、周知・広報を、行政や自治体、教育機関、司法、警察をはじめとする専門機関、マスコミ、地域社会など、社会のあらゆる分野、場面で、積極的にすすめます。

チェンジ5 原発ゼロ・気候危機打開 子どもの未来をまもる

吉田幸一郎は、原発の再稼働に反対し、即時ゼロをもとめます

- 吉田幸一郎は、県民の命と安全、故郷をまもり、子どもたちの未来を守るために、原発の稼働をただちに中止し、すべての原子炉を廃炉にするよう国と原発事業者に求めます。

吉田幸一郎は、気候危機打開に本気でとりくみます

- 吉田幸一郎は、県民の安心・安全、気候危機打開の立場から、原発ゼロ・石炭火力ゼロを国に迫ります。
- 吉田幸一郎は、「福岡県地球温暖化対策実行計画」の2035年度目標を、「温室効果ガスを2019年度比70%以上削減」に引き上げます。そのために、県内のエネルギー消費量を6割減らし、電力の再エネ比率を8割とする責任を持った取り組みを加速します。
- 大規模事業所の温室効果ガス削減がカギです。吉田幸一郎は、大規模事業所の削減目標と計画、実施状況の公表などを「協定」として締結し、県民に可視化します。
- 吉田幸一郎は、中小・小規模事業者向けの省エネ・再エネ設備投資支援を行います。それによって、省エネ・再エネ設備投資の促進のみならず、省エネによる光熱費削減分を他の投資や消費にまわし、地元再エネ売電または自家消費の利益分を他の投資や消費にまわすことで、地域経済を元気にし、雇用を創出します。
- 吉田幸一郎は、県のイニシアチブも発揮して、住民の合意と協力、地域の力に依拠し、利益が地域に還元され、環境破壊を起こさない再エネの利用をはかります。
- 吉田幸一郎は、住宅や小規模工場の屋根への太陽光パネルの設置、県・市町村主導や住民の共同による事業、屋根貸し太陽光発電事業などを推進します。
- 吉田幸一郎は、現行法が森林を大規模に伐採してメガソーラー発電所をつくるなどの事態を想定していないなか、環境保全、乱開発防止のために県条例の必要な改正をします。

チェンジ6 農林水産業の支援で、食の安全と地域の元気を

吉田幸一郎は、安心して米作りに励める条件づくりを国にもとめます

- 吉田幸一郎は、国に対して、米の需給と価格安定に責任を持ち、▽多少の不作や需要増でも不足しないようゆとりをもって生産量や備蓄を確保すること、▽豊作などで供給が上回った場合には国が買い上げ備蓄に回すことを求めます。
- 吉田幸一郎は、国の責任で、将来にわたって米の安定供給を確保するために、価格保障や所得補償などで農家が安心して米作りに励める条件を整えることを求めます。

吉田幸一郎は、持続可能な農林水産業にします

- 吉田幸一郎は、県民の食とその持続的な生産を支えるために、次のような県独自の施策を実行します。
 - 農業、漁業への資材・飼料・燃油高騰に対する影響に対して100%支援します。
 - 新規就農者、小規模・家族農業、中山間地農業が生産を続けられる支援に拡充します。
 - 学校、幼稚園、病院、介護施設などの食事に有機農産物の使用をすすめるとともに、農家が再生産できる金額で買い取るための予算措置などを行います。

チェンジ7

中小企業優先の産業政策で地域経済を元気に

吉田幸一郎は、雇用の8割を支える中小企業をしっかり支援します

- 吉田幸一郎は、大企業、元請け企業に適正な下請け単価を支払わせるために、国に対して、下請検査官の抜本的な増員を求めます。
- 吉田幸一郎は、県自身が「公契約条例」をつくり、適正な取引の範をしめします。
- 吉田幸一郎は、中小企業が消費者に価格転嫁できるように、国に対して消費税の緊急減税とインボイス制度廃止を求めるとともに、県独自にも、本政策に記しているように、賃上げ支援や学校給食費の無償化をはじめ県民の可処分所得を増やすあらゆる施策を実行します。
- 吉田幸一郎は、地元企業の仕事おこしに試され済みの施策、「住宅リフォーム助成」「店舗等リフォーム助成」を10億円規模で行います。